

HPVワクチン予防接種の3種類のワクチンについて			
	2価ワクチン(16型・18型)	4価ワクチン(6型・11型・16型・18型)	9価ワクチン(6型・11型・16型・18型 31型・33型・45型・52型・58型)
商品名	サーバリックス	ガーダシル	シルガード9
製造会社	GSK	MSD	MSD
予防できるHPVの型	ヒトパピローマウイルス16型と18型感染に起因する子宮頸癌(扁平上皮細胞癌、腺癌)及びその前駆病変(子宮頸部上皮内腫瘍2及び3)の予防	ヒトパピローマウイルス6、11、16及び18型の感染に起因する以下の疾患予防 子宮頸癌(扁平上皮細胞癌、腺癌)及びその前駆病変(子宮頸部上皮内腫瘍1、2及び3並びに上皮内腺癌 外陰上皮内腫瘍1、2及び3並びに膣上皮内腫瘍 尖圭コンジローマ	ヒトパピローマウイルス6、11、16、18、31、33、45、52及び58型の感染に起因する以下の疾患予防 子宮頸癌(扁平上皮細胞癌、腺癌)及びその前駆病変(子宮頸部上皮内腫瘍1、2及び3並びに上皮内腺癌 外陰上皮内腫瘍1、2及び3並びに膣上皮内腫瘍 尖圭コンジローマ
接種方法 接種部位	1回 0.5mlを上腕三筋肉内に接種	1回 0.5mlを上腕三筋肉内 又は大腿四頭筋に接種	1回 0.5mlを上腕三筋肉内 又は大腿四頭筋に接種
接種回数 接種間隔	標準的な接種期間として、 1回目 2回目・1回目から1か月の間隔をおいて 3回目・1回目から6か月の間隔をおいて ※3回目は2回目から2か月半以上あけます。 ※ただし、当該方法をとることができない場合は、1月以上の間隔をおいて2回行った後、1回目の注射から5月以上かつ2回目の注射から2か月半以上の間隔をおいて1回行う。(予防接種実施要領)	標準的な接種期間として、 1回目 2回目・1回目から2か月の間隔をおいて 3回目・1回目から6か月の間隔をおいて ※3回目は2回目から3か月以上あけます。 ※ただし、当該方法をとることができない場合は、1月以上の間隔をおいて2回行った後、2回目の注射から3月以上間隔をおいて1回行う。(予防接種実施要領)	★1回目の接種を15歳までに受ける場合 標準的な接種期間として、 1回目 2回目・1回目から6か月の間隔をおいて ※ただし、当該方法をとることができない場合は、2回目の接種は1回目から少なくとも5か月以上の間隔をおいて実施する。 (予防接種実施要領)
			★1回目の接種を15歳以上で受ける場合 標準的な接種期間として、 1回目 2回目・1回目から2か月の間隔をおいて 3回目・1回目から6か月の間隔をおいて ※3回目は2回目から3か月以上あけます。 ※ただし、当該方法をとることができない場合は、2回目接種は1回目から少なくとも1か月以上、3回目接種は2回目接種から少なくとも3か月以上間隔をおいて実施する。 (予防接種実施要領)

①どのワクチンを接種するかは、保護者及び対象者にご相談の上、予約の際に確認してください。

②ワクチンにより接種間隔が違います。ご注意ください。